The Tohkai Shimpo
# 東海新報
令和5年（2023年）
9月27日 水曜日
第19876号　日刊（月曜日休刊）

……2面
……6面
……7面

0192-27-2154

医療法人 きくた 菊田外科・泌尿器科
大船渡市大船渡町字明神前11-1　TEL 0192-26-4075

サポート付き在宅ワーク実験2年目

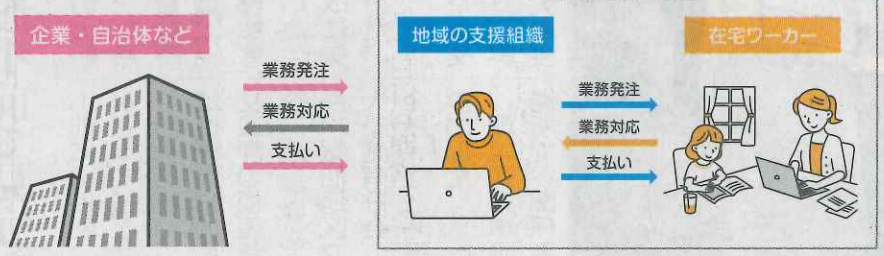
# 働き手200人確保目指す

## 東京の一般社団法人が実施　陸前高田など全国10地域で

一般社団法人ソーシャルビジネス・ネットワーク（東京都、町野弘明代表理事）は本年度、陸前高田市を含む全国10地域で、サポートを受けながら在宅ワークに取り組める「ユニバーサル・クラウドソーシング・サービス」事業の実証実験を展開している。昨年度始まり、2年目の取り組み。初年度の成果を踏まえ、本年度は在宅ワーカーに業務を発注する企業の掘り起こしに乗り出し、ワーカーは計200人の確保を目指す。同法人は来年度からの本格運用を目標に掲げており、企業と多様な理由で働きづらさを抱える人双方にメリットがある仕組みとしての浸透に期待が集まる。

（高橋　信）

■実証実験のイメージ




クラウドソーシングは、インターネットを通じて企業が仕事を発注（アウトソーシング）し、不特定多数の個人が受ける仕組み。

実験は、全国約200社のソーシャルビジネス事業者のネットワーク組織である同法人が、経産省の「地域・企業共生型ビジネス導入・創業促進事業補助金」の採択を受けて実施。全国11万人の在宅ワーク会員を持つ㈱キャリア・マム（東京都、堤香苗代表取締役）が提携企業として連携している。

本年度は6月に始動し、実施地域を昨年度より2倍の10地域（陸前高田市、北海道札幌市、神奈川県横浜市など）に拡大。陸前高田市では、同市の一般社団法人スナフキン・アンサンブル（石井優太代表理事）が、実験運営側と地元の在宅ワーカーを結ぶサポート組織を担っている。

今月25日は、実験の事務局や東北経済産業局職員ら8人が、スナフキン・アンサンブルが運営する矢作町の市ユニバーサル就労支援センターに集まり、昨年度の成果や本年度の計画を確認。昨年度体験した在宅ワーカー3人とオンラインで結び、意見交換も行った。

在宅ワーカーは、スポーツ実況の文字起こしやレシート内容のデータ入力など手掛けた業務を報告。いずれも「本年度も継続してやりたい」と意欲を示した。

ソーシャルビジネス・ネットワークによると、昨年度体験したワーカーは全国5地域で98人。ワーカー向けのアンケート（29人回答）では、やりがいや達成感について「非常に感じた」「やや感じた」と答えた人の割合は86・2％だった。

昨年度はキャリアマムを通じ、同社の顧客企業から業務の提供を受けたが、本年度は実験地域などでの企業開拓に力を入れ、業務発注5社確保を目指す。ワーカーの増員にも取り組む。

企業側にとっては、繁忙期の業務負担軽減やコスト削減などのメリットが見込まれる。一方で、障害やさまざまな理由から対面で働きづらい人や、育児、介護のため働くことをあきらめた人にとっては、就労支援組織のサポートを受けながら住み慣れた地域で仕事ができる仕組みとなっており、定着するか今後の行方が注目される。

同法人の石井綾事務局長（54）は「オンラインでワーカーから生の声を聞くことができ、とても参考になった。在宅ワークのみでも生活していけるような社会になれば、働きづらさを抱える人の安心にもつながる。ハードルは非常に高いが、来年度の事業の自立化を見据えながら取り組んでいきたい」と力を込める。

実証実験のイメージは別図。同法人は、気仙地域で在宅ワーカー向けに業務を発注する企業や自治体などを募集している。業務例は文章の校正、文字起こし、データ入力、営業電話、写真撮影など。

問い合わせは、市ユニバーサル就労支援センター（℡22・8465、メールinfo@uwc-rikuzentakata.net）へ。

実証実験2年目を迎え、取り組みの深化に向けて意見交換する関係者＝矢作町

# 4年度決算認定し閉会

## 大船渡市議会9月定例会　本年度補正予算も可決

大船渡市議会9月定例会は26日に最終本会議が開かれ、令和4年度一般会計や各種特別会計決算を認定したほか、本年度一般会計補正予算をはじめ当局提案議案11件を可決し、閉会した。一般会計は、前年度繰越金の確定による財政調整基金積立金5000万円、地域情報通信基盤推進事業730万円、道路・河川等維持補修事業2890万円となっている。

市によると、財政調整基金の4年度末残高は約40億円。前年度の繰越金の約半分を積み立てる財政調整基金は当初予算に1億円を計上しており、補正分を合わせ計3億5000万円を積み立てる一方、本年度は取り崩し額が上回り、現時点では年度末で36億円台となる。

4年度決算のうち、一般会計の歳入は249億2122万円（同3・2％増、執行率97・7％）、歳出は242億1896万円（同4・4％増、同94・9％）。実質単年度収支は、4億4430万円の赤字となった。

本年度一般会計補正予算の主な歳出は、財政調整基金積立金を令和元年度の3億円を皮切りとして、翌年度以降は1億円ずつ積み増し、11年度に13億円とする方針。5年度も当初計上していた5000万円と合わせ、計画通り進める。庁舎整備に関する検討は未着手となっている。

また、議員発議案「ゆたかな学びの実現・教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書」（提出者・東堅市議員）は、賛成少数で否決。起立採決の際、賛否が拮抗した

# 気仙3市町は「始期」に

## 県全体は22％　20日現在の稲刈り進捗率

県は、20日現在における水稲の刈り取り状況をまとめた。気仙3市町の稲刈り進捗率を見ると、大船渡市が43％、陸前高田市が11％、住田町が44％となり、いずれも平年より早く「始期（刈り取り進捗率10％）」に入った。県全体は22％となっている。

県大船渡農業改良普及センターの概況速報によると、本年度の始期は、大船渡市が16日（平年比5日早め）、陸前高田市が20日（3日早め）、住田町が17日（同4日早め）。

気仙3市町と釜石市、遠野市を合わせた同センター管内の進捗率は23％。始期は19日（同3日早め）となった。

県全体の始期は18日で平年より6日早かった。地帯別に進捗率などを見ると、気仙を含む東部は26日で、始期は18日（同5日早め）。

県央部の北上川上流は21％、県南部の北上川下流は21％、北部は19％となった。東部以外は始期に未到達。市町村もあるが、全体的に平年より時期が早まっている。

県は生産者に対し、「品質米の安定確保のため、品質や食味が低下しないように速やかに刈り取りを終えてほしい」と指導。

早まる日没時間を考慮した計画的な作業、農作業全への心がけも呼びかけている。

で延べ床面積124・22平方㍍。簡易水道、下水道接続済みで、石油給湯器、システムキッチン、風呂、駐車スペース（2～3台分）あり。シャワーや洗面化粧台の水栓交換、便器入れ替え、畳表替は済んでいる。

家賃は月額4万5000円、敷金は13万5000円となる。

応募資格は2号、3号ともに▽町外に住所があり、本人と同居者がいずれも45歳未満▽同居者に高校生以下の子どもがいる▽婚姻届を証明する書類、内縁関係にある人や婚約中の人はそれを証明する書類を添付して町企画財政課まで提出を。申込用紙は町ホームページ（https://www.town.sumita.iwate.jp）から入手できる。

物件の見学も随時受け付けている。詳細についての問い合わせは同課（℡46・2114）へ。

## くん蒸作業であすから臨時休館

大船渡市立博物館

### 世迷言

植物学者・牧野富太郎が残した植物標本の大半は押し葉標本であり、採集地などのラベルがついた「完全標本」からはほど遠いものであったという▼彼は植物を新聞紙に挟んで押し葉にするところまではしても、その植物の同定（国内外の文献や過去の標本にあたり、採集植物の種名を特定する作業）はしていなかったらしい。未整理標本の数はなんと、約40万枚にも上る▼完全標本に

### きょうの天気
一時
◎最高 24℃　◎最低 19℃

### あすの天気
時々

### 海上（波の高さ）
◆きょう　1m
◆あ　す　1mのち2m

### あすの暦
9月28日（旧8月14日先負）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 日出 | 5：25 | 満潮 | 1：49 |
| 日入 | 17：22 | 〃 | 15：18 |
| 月出 | 16：57 | 干潮 | 8：40 |
| 月入 | 3：27 | 〃 | 20：54 |
| 月齢 | 13・1 | ―大　潮― | （大船渡湾） |

### 東日本大震災 気仙2市の被害者数

| | 死者数 | 行方不明者数 |
|---|---|---|
| 大船渡市 | 340 | 79（76） |
| 陸前高田市 | 1,557 | 202（200） |

県復興防災部防災課発表、2023年8月31日現在。死者数は県警調査、行方不明者数（カッコ内は行方不明者